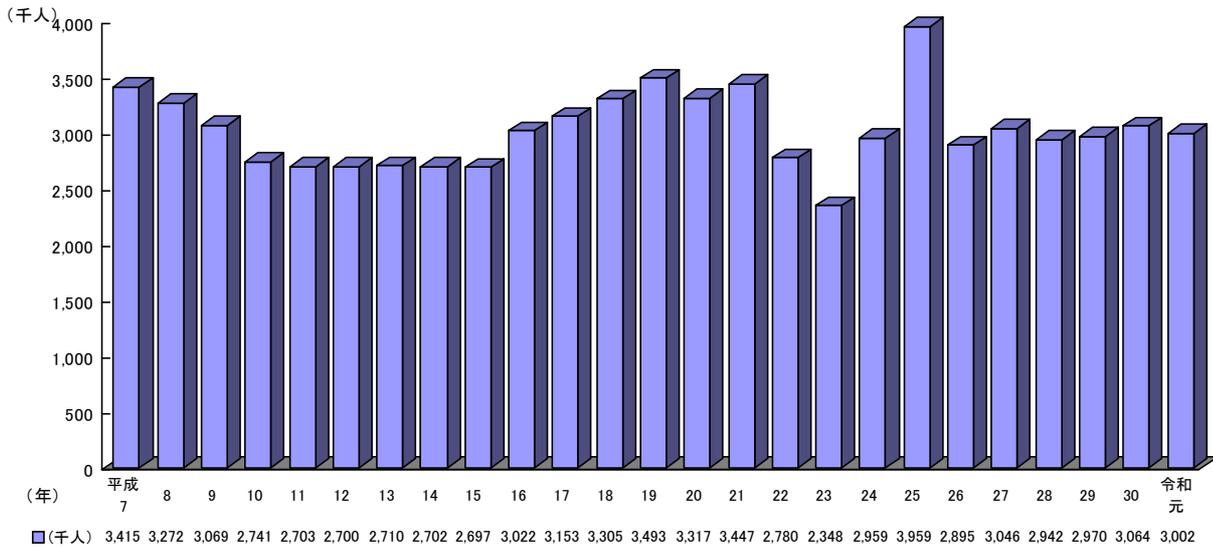


令和元年会津若松市観光客入込みの概況について

【会津若松市観光客入込みの推移】



令和元年に本市を訪れた観光客の総数は 3,002 千人となり、前年から 62 千人の減少(対前年比 98.0%)となりました。

令和元年は、暖冬により冬季の観光客の減少幅が緩和され、また、春の大型連休における「2019 春の観光誘客促進事業」や、新たに滞在型観光の推進を図る「ナイトタイムエコノミー事業」の展開、さらには台湾・タイ王国をはじめとしたインバウンド向けプロモーションなどの取組により、観光誘客につながりました。しかし、長引いた梅雨や甚大な被害をもたらした台風 19 号の影響、さらに、春の大型連休後の反動減や消費税率引き上げ等による観光需要の鈍化などの影響により、年全体としては観光客が減少することとなりました。

一方で、訪日外国人観光客については、東山・芦ノ牧両温泉の宿泊者合計が 10,444 人と前年比で 3,356 人増加(対前年比 147.3%)となりました。市内旅館・ホテルの宿泊者数を加えると 25,012 人となり、前年比で 6,897 人の増加(対前年比 138.1%)となりました。国別では、本市が観光誘客に注力している台湾、東京 2020 年オリンピックのホストタウンを務めるタイ王国からの来訪者が多く、香港、シンガポール、アメリカ、オーストラリアなども増加傾向にあります。

教育旅行については、令和元年度の県外来訪校数は 663 校となり、前年度比で 7 校減少し、震災前(平成 22 年度 841 校)との比較では約 79%となっています。

令和2年は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、訪日外国人観光客の増加が見込まれ、さらに令和3年は、東北デスティネーションキャンペーンも予定されていることから、引き続き関係機関と連携を図りながら、新たな観光コンテンツによる着地型観光の促進や広域観光の連携強化に取り組み、国内外からの観光誘客を図ってまいります。